

第8章 計画の目標及び評価

1. 計画の目標指標の設定

(1) 基本的な考え方

本計画の実現に向けて計画の適切な進捗管理を行うため、まちづくりの方針と施策に応じた客観的・定量的な目標指標と目標値を設定します。

(2) 目標指標と目標値の設定

目標指標は、以下のとおりとします。

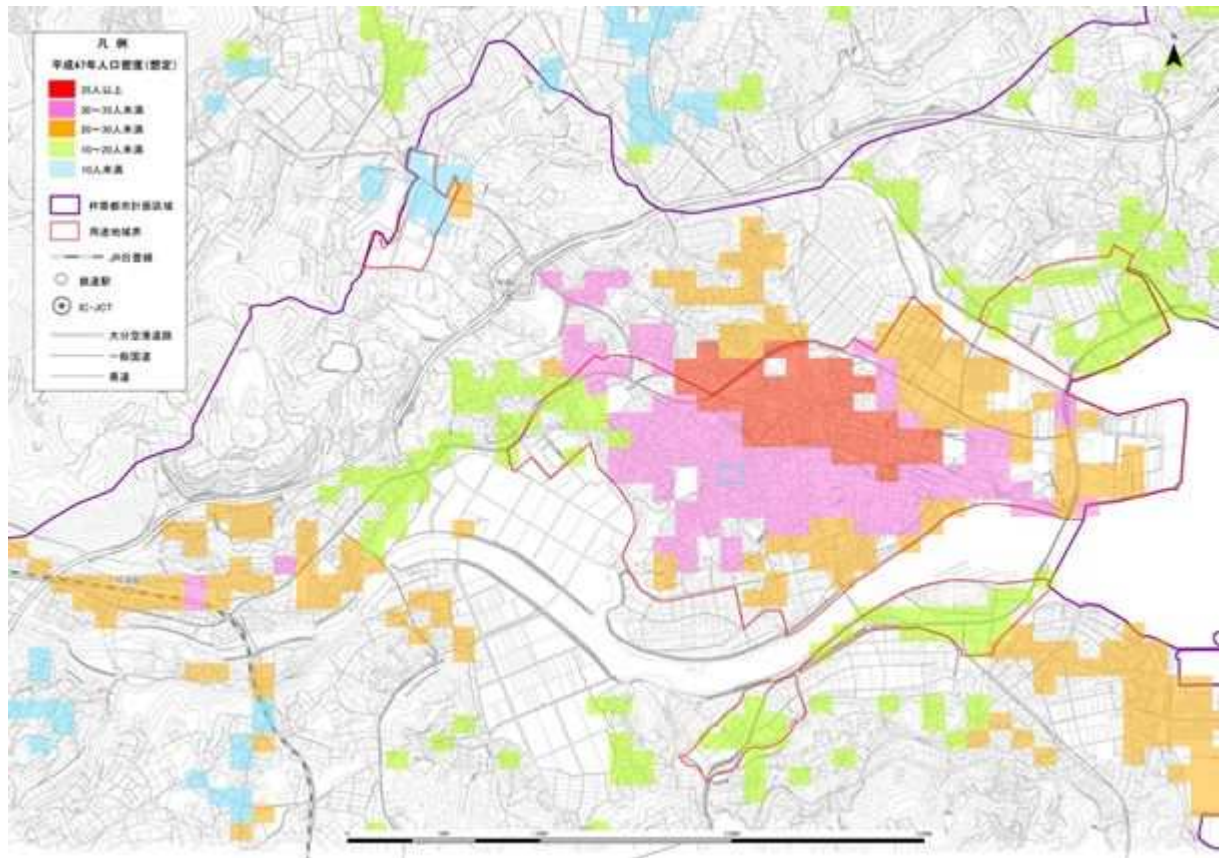
《目標値の設定》

目標指標	現 状 値	抽出方法	目標値の考え方	まちづくり の目標
	推 計 値			
	目 標 値			
居住誘導区域 内人口密度 (22.4人/ha)の 維持	5,979人(2015)	100mメッ シュ人口の合 計	人口推計値(203 5年)に、浸水想定 区域からの転居や 新規移住によって 現況を維持	コンパクト で暮らしやす いまち
	5,103人(2035)			
	5,897人(2035)			
都市機能誘導 区域内の誘導 施設数	3施設(2018)	都市機能誘導 区域内に立地 する誘導施設 ※1	都市計画区域の誘 導施設の5%を都 市機能誘導区域に 集約	コンパクト で暮らしやす いまち
	3施設(2035)			
	7施設(2035)			
浸水想定区域 内の居住者数	3,982人(2015)	浸水想定区域 内の100m メッシュ人口 の合計	浸水想定区域内の 居住者の20%を 居住誘導区域内に 誘導	安心して暮 らしやすいま ち
	3,572人(2035)			
	2,858人(2035)			
民間バスの便 数	31便(2018)	都市拠点間を 繋ぐ民間バス の片道便数	地域公共交通の維 持・確保	気軽に外出 しやすいま ち
	25便(2035)			
	29便(2035)			
要介護(要支 援)認定率	16.5%(2018)	要支援1以上 人口を総人口 で除した値	外出機会増加によ って健康寿命を延 伸	気軽に外出 しやすいま ち
	23.5%(2035)			
	17.0%(2035)			

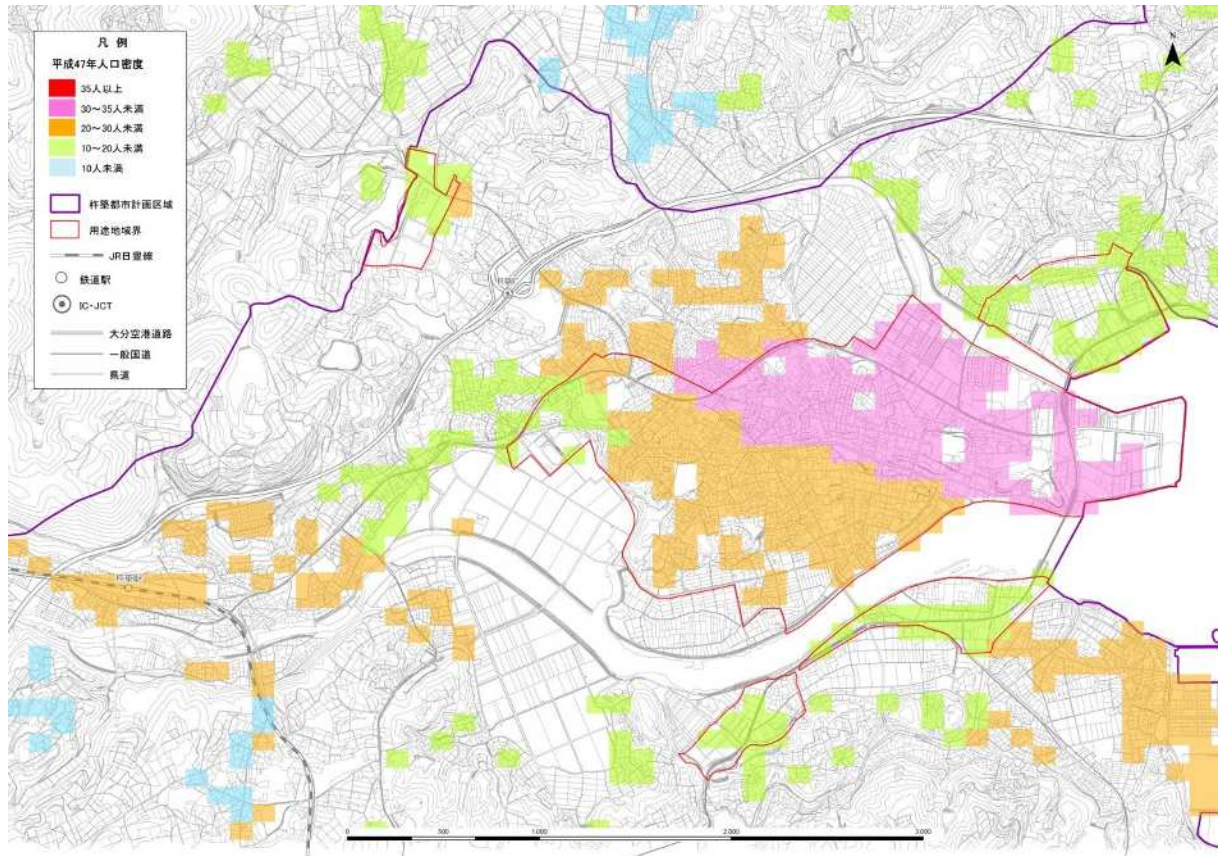
※1：指標の対象とする誘導施設は、スーパー・コンビニ、子育て支援センター・保育所・こども園、内科診療所・歯科診療所、総合福祉センター・通所型福祉施設・コミュニティサロン、銀行・郵便局、高等学校のみとします。

※目標値は、経年的に収集・分析が可能な統計データを用いるものとします。

■ 2035市街地人口密度（目標）



■ 2035市街地人口密度（推計）



2. 計画の評価

(1) 協働のまちづくりの推進

本市が「未来につなぐ安全な住みやすいまちづくり」を実現するには、計画的かつ効果的な誘導施策の実施により目指すべき都市構造を形成することが必要です。

また、市民・事業者・行政が本計画の基本理念を共有し、各々の役割と責務において協力しながら施策を推進していくことが重要です。そのため、市民や事業者の自主的な行動のみでなく、関係する行政機関の連携を強化するとともに、市民・事業者と行政などが協議できる組織づくりを行います。

(2) 積極的な情報発信と情報共有

市民や事業者に対して本計画の積極的な情報発信を行うとともに、目指すべき都市構造の形成に向けた計画の趣旨や目標の共有を図ります。

また、計画に基づく事業内容や進捗状況、支援策などは、市内外に広く公表します。

(3) 計画の進捗管理

本計画は、毎年、目標の達成状況や施策の進捗状況などの把握に努め、原則として5年毎（国勢調査の公表時期）に計画内容の評価を行い、都市計画審議会などに意見を聴き、必要に応じて計画の見直しを行います。

(4) 目標指標の検証

本計画の目標指標は、2035年度に達成するものとし、施策に取り組みます。ただし、達成状況の確認のため、5年毎の評価時に目標指標の検証を行い、目標水準に2割以上の開きがある場合は、その原因を分析し必要に応じて改善のための措置を講じます。

